



Seminar

February 2025

2025.2.18 (Tue)

Geometry Seminar (15:00--16:30 【Venue: Mathematics Building 305】)

Speaker : 陣内 智史 (Osaka University)

Title : 双有理幾何的視点に基づいた小林・ヒッチン対応の拡張について

Abstract :

連接層の小林・ヒッチン対応とは, slope 安定性とエルミート・アインシュタイン計量の存在の 等価性のことである. これらの概念はケーラー類を用いて定義されていた. big 類とはケーラー類の双有理的 な変種のことである. 本講演では多様体の big 類に対して slope 安定性とエルミート・アインシュタイン計量 の定義を拡張する. そして講演者によって得られた, 一般型正規射影多様体上の標準因子に関する小林・ヒッ チン対応を紹介する.

6-3, Aramaki Aza-Aoba, Aoba-ku, Sendai 980-8578, Graduate School of Science, Tohoku University, Japan

© 2006-2014, Mathematical Institute, Tohoku University. All Rights Reserved.